



### 制吐剤セット処方④

Day2.3 デカドロン錠4mg 1錠(分1 朝食後)

\* 腎機能低下時の減量方法については、クレアチンクリアランスに応じて、S-1の投与量を変更すること

Ccr60~80mL/min 初回量より必要に応じて1段階減量

Ccr40~59mL/min 原則として1段階減量

Ccr30~39mL/min 原則として2段階減量

Ccr30未満は禁忌

### ※S-1の内服量

血液毒性・非血液毒性発現時の休薬・減量・再開基準を参考にする。

体表面積	1回用量	1段階減量	2段階減量
~<1.25m <sup>2</sup>	40mg/回	30mg/回*	25mg/回*
1.25m <sup>2</sup> ≤~<1.5m <sup>2</sup>	50mg/回	40mg/回	30mg/回*
1.5m <sup>2</sup> ≤~	60mg/回	50mg/回	40mg/回

\*SOFT試験における減量投与量であり、S-1の用法・用量外です。不均等指示などでS-1の用量を決定してください。また、S-1の最低用量は40mg/回が添付文書上になっている。

### オキサリプラチンの投与基準

初回投与量	1段階減量	2段階減量
130mg/m <sup>2</sup>	100mg/m <sup>2</sup>	85mg/m <sup>2</sup>

### 【治療開始基準】

観察/検査項目	開始基準
---------	------

白血球数	$\geq 3000/\text{mm}^3$
好中球数	$\geq 1500/\text{mm}^3$
血小板数	$\geq 75000/\text{mm}^3$
AST、ALT	$\leq 100\text{IU/L}$
血清クレアチン	$< 1.5\text{mg/dL}$
感染	感染を疑う38°C以上の発熱なし
下痢、口腔粘膜炎	Grade $\leq 1$
神経障害(感覚性)	Grade $\leq 2$

参考文献: ATTRACTION-4試験

Boku N, et al.: Ann Oncol. 30(2): 250-258, 2019